



発行年月 >>> 2021.3

Vol.43

Olive・Heart通信



香川大学男女共同参画推進室ニュースレター

TOPICS

- 活動報告 ◆「女性リーダー育成セミナー」「キャリア形成支援セミナー」の実施について
 - ◆全学部でキャンパスメンターミーティングを開催
 - ◆「キャリア形成支援セミナー」の実施について
 - ◆「アオイ電子株式会社業界セミナー」の実施について
 - ◆「クラウドファンディング・セミナー」「介護セミナー」の実施について
 - ◆ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン2020に参加
- その他 ◆医学部 倉原 琳先生が第10回入澤彩記念女性生理学者奨励賞受賞
- ◆医学部 松田陽子 先生が2020年度ダイバーシティ推進共同研究表彰受賞…他



活動
報告

「女性リーダー育成セミナー」「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

日 時：2020年9月17日(木)14:00～15:30

オンライン

講 師：東海国立大学機構 名古屋大学 男女共同参画センター長・生命農学研究科教授
東村 博子 氏

場 所：医学部キャンパス 臨床講義棟1階 参加者数：110名(内 会場視聴：39名)

9月17日(木)に、香川大学幸町南キャンパス総合教育棟(DRI棟)1階 第11講義室において、「キャリア形成支援セミナー・女性リーダー育成セミナー」をZOOM同時配信(会場視聴あり)で開催しました。

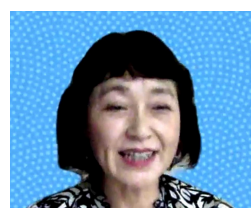
本セミナーは、徳島大学を代表機関とする令和2年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において女性研究者の上位職への登用に向けた取り組みに基づいて実施される事業として開催したものです。

会場視聴の参加者に加え、学内外からのZOOM配信での参加も多く、合計110名の参加がありました。講師の東海国立大学機構名古屋大学 男女共同参画センター長 東村先生から初めに、日本における女性活躍の状況、女性労働力率の国際比較、日本における女性研究者の状況などのお話があり、次に生物学的観点から見る男女のなりたち、男女差についてなど、大変興味深いお話をして頂きました。組織の活性化戦略としての男女共同参画については、大学・組織・社会の活性化に多様性が必須である、男女に関わりなく頑張りたい時にがんばり、そうでないときは頑張らなくてもいい社会をつくる、自己実現とやる気が組織・社会を活性化する、など、教職員にとって大変有意義なお話がありました。また、名古屋大学は、全国の大学の中でも非常に早くから女性の活躍を大学の活性

化につなげる取り組みを実施されており、多様な活動実績をご紹介いただきました。

学長、理事の参加もあり、学長からは、女性の方が自己実現する機会を奪われていく社会が日本はまだ続いているといったお話に、東村先生より、男性も女性も自己実現しにくかった、収入をお互いにささえる、何かあった時に支える、同時に子育ても二人で関わる、それをしたい方は多いといったお話がありました。

アンケートでは、「非常に参考になった」51%、「参考になった」49%という結果でした。参加者からは「日本における女性活躍の最新の現状を知ることができて良かった」「生物学の観点から男女差を考察していくことは今まであまりなかったので、とても興味深かったです」「多様性が組織を活性化することに納得できた」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。



東村 博子 先生



▲会場視聴の様子



全学部でキャンパス・メンター・ミーティングを開催しました。(R2.2~R2.7)

- ◆ 2020年2月28日(金) 創造工学部
- ◆ 2020年3月12日(木) 法学部
- ◆ 2020年3月25日(水) 農学部・医学部
- ◆ 2020年7月 1日(水) 教育学部
- ◆ 2020年7月29日(水) 経済学部・地域マネジメント研究科

男女共同参画推進室では、「キャンパス・メンター・ミーティング」を設置しております。

「キャンパス・メンター・ミーティング」とは、学内の女性(男性の参加も可)研究者・職員による、自由に意見交換や相談ができる機会です。個別相談もできます。教育・研究・仕事についてや生活について、また、その両立について困っていることや、気になることを自由に話し相談することができます。さらに、学外との連携で次のような活動も可能です。

- 女性有識者(香川の経済界・県庁等で活躍している女性)との懇談により、意見交換をしたり、助言を受けることができます。
- 四国5大学連携の女性研究者活躍推進コンソーシアム形成事業の一つである「連携メンター制度」の活用により、学の研究者とのメンター相談や各種情報を受けることができます。

簡単に言うと・・・

- ・教育・研究・仕事についてや生活について、また、その両立について困っていることや、気になることを自由に話し相談することができます。
- ・四国5大学(徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学)で構築している、連携・ネットワークによるメンター制度を活用し、広く学外の状況を教えてもらうことができます。……………等

☆詳しくは男女共同参画推進室までお問い合わせください。



▲ 創造工学部



▲ 法学部



▲ 医学部



▲ 農学部



▲ 教育学部



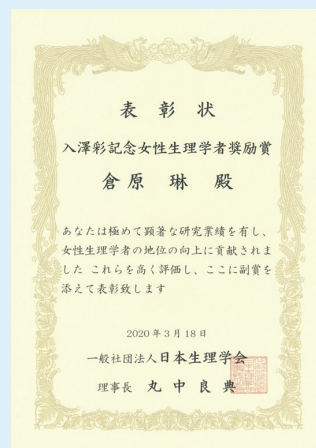
医学部自律機能生理学 倉原 琳先生が、第10回入澤彩記念女性生理学者奨励賞(入澤彩賞)学会賞を受賞されました。

令和元年度文部科学省科学技術人材育成費補助金事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)により実施しました、研究補助者支援および共同研究等において受賞されました。

テーマは、「肺動脈性肺高血圧の新規治療薬の探索」です。



医学部自律機能生理学
倉原 琳 准教授



活動報告

「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

日時：2021年10月15日(木)16:20～17:50

オンライン

講師：香川大学医学部看護学科教授・男女共同参画推進室 副室長 清水 裕子 氏

参加人数：21名

10月15日(木)に、「キャリア形成支援セミナー」をZOOM同時配信で開催しました。

本セミナーは男女共同参画推進室の事業と全学共通科目・主題A「生活とキャリア」の分野で「男女共同参画の視点からライフデザインを考える」の授業の一環として行いました。

講師の香川大学医学部看護学科教授・男女共同参画推進室 副室長 清水 裕子 先生から、日本の高齢社会における人生の晩年のあり方からお話があり、配偶者を失った人と有配偶者の比較や死別後の過ごし方、友人関係など、死別後、離別後、未婚の晩年の「孤独」が日本の課題の1つであることなど、現代における日本の高齢社会の実態などのお話がありました。

幸福度は、性差が明瞭で、男性は家計・就業重視、女性は家族、生きがいを重視する傾向にある事が説明されました。日本と世界の婚姻率、日本の未婚割合、日本の外国人配偶者の婚

姻件数の年次推移、平均初婚年齢、平均出会い年齢及び交際期間の推移、理想子ども数と出産年齢、収入と結婚、雇用形態別結婚・出産の状況、恋愛結婚と見合い結婚の歴史的転換、出産育児による女性の就業変化、夫の家事育児参加、育児と仕事の両立断念、景気と離婚の関連等々、さまざまな結婚・出産・育児等に付随するデータは、すべて興味深いもので、大変わかりやすいお話でした。

アンケートでは、「非常に参考になった」42%、「参考になった」58%の結果となりました。参加者からは「いろいろなグラフなど定量的な情報を提示いただき、わかりやすかった。」「結婚についての貴重な話を聞くことができました。」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。



活動報告

「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

日時：2021年10月22日(木)16:20～17:50

オンライン

講師：NPO法人わははネット 理事長 中橋 恵美子 氏

参加人数：28名(教職員)

10月22日(木)に、「キャリア形成支援セミナー」をZOOM同時配信で開催しました。

本セミナーは、令和2年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業と、全学共通科目・主題A「生活とキャリア」の分野で「男女共同参画の視点からライフデザインを考える」の授業の一環で開催しました。講師の中橋 恵美子氏から、NPO法人わははネットの発足から現在までの活動など、香川県での子育ての情報発信、親子の居場所づくり、その他子育てに関する様々な活動・支援についてのお話がありました。

香川県の少子化の現状、少子化の進行と問題の深刻さなど、現代の少子化につながる原因をわかりやすくお話いただきました。香川県の子育て家庭の約8割は核家族である事、子育て家庭の現状について、男性・女性の育児時間比較、父親の育児時間は出生数と相関関係がある事、アウェイの中での子育てなど、子育ての負担感が大きい社会である事が説明され

ました。自分を支えてくれる身近な家族や仲間、仕事と家庭の両立を支えてくれる様々な仕組みやサポートをまず知り、孤育て(孤独な子育て)をしない・させない、抱え込まずに相談したり、夫婦で一緒にいろんな人に助けをもらい、利用する事がとても重要であるというアドバイスがありました。

アンケートでは、「非常に参考になった」61%、「参考になった」31%という結果でした。参加者からは「イキイキ社員になろうと思いました。」「興味深い話題が多数あったので、聞きやすくて参考になりました。」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。



中橋 理事長



▲セミナー時(ZOOM配信)の様子

お知らせ

香大っこサポーター養成講座受講用DVDができました！

「香大っこサポーター」とは、香川大学の教職員の子どもたち「香大っこ」をみんなで育ていくために、お手伝いをしてくださる香川大学の学生の事です。主な活動内容は、香大っこルーム(男女共同参画推進室併設の託児ルーム)での短時間託児・夏休み期間中のサマースクールでの児童のサポート・入学試験時の託児のサポートです。託児を中心とした活動をしており、教職員の子育てと仕事の両立支援を行うとともに、学生自身も託児を通して育児の大変さを少しでも体験してもらうことを目的に行っています。サポーターとして登録したい学生は、託児に関する講習と実習を受けます。受講が不可な場合のため講習会の内容をおさめたDVDを作成しました。

☆香大っこルームで香大っこサポーターによる託児を利用する場合は、1時間につき500円の託児料金が必要となります。香大っこサポーターによる託児は3歳以上のお子様になります。



「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

オンライン

日時：2020年11月25日(水)13:00～14:30

テーマ：「アメリカのスポーツ界における性的虐待と言語の悪用」

The Language of Harm: What the Nassar Victim Impact Statements
Reveal about Abuse and Accountability

講師：ブランダイズ・ロースクール ルイビル大学

ジェイミー・アール・エブラムス知的生活副学部長、法律学教授

参加人数：7名(教職員・学生)

11月25日(水)に、「キャリア形成支援セミナー」をZOOM講演
動画配信で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする令和2年度科学技
術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシア
ティブ(牽引型)」において女性研究者の上位職への登用に向け
た取り組みに基づいて実施される事業として開催したものです。

ブランダイズ・ロースクール ルイビル大学 ジェイミー・アール・
エブラムス知的生活副学部長、法律学教授による講演でした。

要旨：ラリー・ナッサーの刑事判決で法廷に提出された140件
以上の被害者のインパクトステートメントを検証している。ラ
リー・ナッサーは米国体操協会の医師であり、ミシガン州立大学
の職員としてエリートアスリート、主に体操選手を治療してい
たが、ミシガン州で児童ポルノと第一級の違法な性的逸脱行為の
罪で有罪を認めた。コーパスに基づく談話分析を用いて、被害者
が、ナッサーとは何者か(医者、怪物、友人)、ナッサーが何をし
たか(虐待、暴行、児童性愛、「治療」、そして被害者の受けた被害
(痛み、傷、裏切り))を検証した。

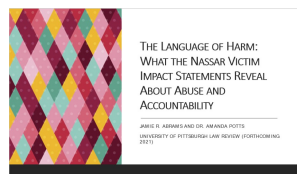
アンケートでは、「非常に参考になった」20%、「参考になっ

た」80%という結果でした。

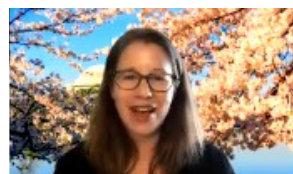
以下、セミナーについての参加者からの印象に残った点と
して、女性が大変な被害にあった上、訴えることが困難だった
こと、法制度が使用している言語と法律用語が一致していな
い事、といった事があげられました。

●その他の意見等

・日本と欧米の法制度、司法裁判制度の違いや、性的被害
者、加害者のケア・支援についても知りたい。



▲セミナー時(ZOOM配信)の様子



ジェイミー先生

医学部 松田陽子 先生が「2020年度ダイバーシティ推進
共同研究表彰」を受賞しました。

令和元年度文部科学省科学技術人材育
成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実
現イニシアティブ(牽引型)」により実施し
ましたダイバーシティ推進共同研究表彰制度
において「2020年度ダイバーシティ推進
共同研究表彰」を受賞されました。

※ダイバーシティ推進共同研究表彰制
度とは、ダイバーシティ推進共同研究支援
制度を利用し、四国地域全体の女性研究者
の研究力強化に特に貢献した女性研究者
を顕彰し、優れた研究成果の持続的創出と
女性研究者のさらなる活躍をはかることを
目的として表彰するものです。

テーマ：膵癌の病理診断の施設間の診断一致率および正診率の向上を目指した取り組み

医学部腫瘍病理学
松田 陽子 教授

▲表彰式の様子(医学部)

左から、柴田男女共同参画推進室長、
上田医学部長、松田教授、清水教授、村上特命講師



「徳島大学・香川大学 連携★統計セミナー Part2中級編」を開催しました。

日 時 : 2020年12月11日(金)17:30~20:00

オンライン

講 師 : 大阪市立大学 大学院医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷 歩 氏

申込人数: 154名

12月11日(金)に、「徳島大学・香川大学 連携★統計セミナーPart2中級編」をZOOM同時配信で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする令和2年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施される事業であり、女性研究者(若手研究者・大学院生等を含む)が、自らの研究において必要な統計解析についての知識を高めスキルを向上させることができるよう支援することを目的として開催したものです。本セミナーは徳島大学と連携して、Part1初級編を徳島大学主催、Part2中級編を本学主催にて開催しました。

12月2日に行われた徳島大学主催のPart1初級編に引き続いての学内外からの参加者も多く、合計154名の申込がありました。講師の大阪市立大学 大学院医学研究科 医療統計学講座 教授 新谷先生から、研究者が陥りやすい統計解析上の留意点について、数式を一切用いず、多重検定によるP値の補正、無料ソフトを用いた計算、データの種類に応じた統計テストの選び方、回帰分析モデルの選び方など基本からわかりやすく解説するとともに、実際の研究・解析に役立つ実際例の紹介等をしていただきました。

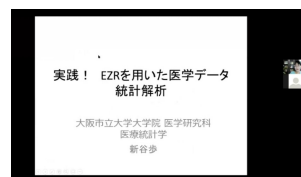
アンケートでは、「非常に参考になった」52%、「参考になった」44%という結果でした。

参加者からは「EZRを実際に使っているところを見ることができて、わかりやすかった。」「傾向スコアや逆数重み付けと

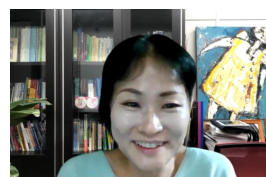
いったこれまで知らなかったトピックを知ることができた。」「普段使用していない統計解析ソフトの話だったので、大変勉強になりました。』といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想(一部抜粋)

- データ分布の重要性が再認識できた。パラメトリック検定の理解が深まった。
- 配布された資料とともに順を追って解析方法などを実演してもらったのでわかりやすかった。
- EZRの具体的な使用法や注意点について詳しく理解できた。
- 初級と中級の2段階の設定がよかった。
- 医学の臨床研究における解析の際に、EZRの限界(できる部分とできない部分)を次回ご教示願いたい。
- 効果的なデータセットの作り方など、基本的なところからご講義いただけたので、初学者の私でも理解しやすかった。



▲セミナー時(ZOOM配信)の様子

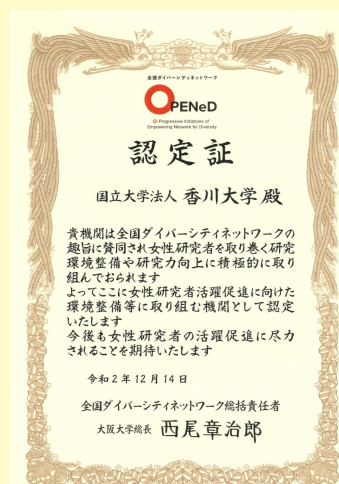


新谷 歩 先生



全国ダイバーシティネットワークより認定証が 交付されました。

令和2年12月14日に開催されました、全国ダイバーシティネットワーク認定証交付式(オンライン)におきまして、認定証が交付されました。この認定証は、全国ダイバーシティネットワークの趣旨に賛同し、女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に積極的に取り組んでいる全国ダイバーシティネットワークの参画機関すべてに交付されました。



活動報告

「アオイ電子株式会社業界研究セミナー」を開催しました。

日時：2021年1月18日(月)14:40～16:10

講師：アオイ電子株式会社 総務部人事課 課長 青木 英二氏

アオイ電子株式会社 商品開発部 主査 杠(ゆずりは)明日美氏 参加人数:5名

1月18日(月)に、「アオイ電子株式会社業界研究セミナー」を香川大学創造工学部で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2020年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき取り組みに基づいて実施される事業です。地域企業であるアオイ電子株式会社と連携して、女性活躍についての意識醸成、働き方改革等、女性研究者の採用を高め、地域連携を深めることを目的として開催したものです。

講師のアオイ電子株式会社 総務部人事課 課長 青木英二氏より、まず企業内容についての説明がありました。

1969年創業から現在まで、1.熱意、2.誠意、3.創意を経営基本方針とし、日本のものづくりを守ってきたという説明のあと、9万種という多品種の製品を作っていること、半導体製造では日本企業の中でトップであること、世界レベルでの比較、経営指標である売上・利益の推移など、様々なデータを用いて説明がありました。社員構成については、職種別の男女の人数、正社員比率が93.9%、実質97.2%であること、出身学校別在籍社員数では、香川大学出身のOG・OBが多数在籍していることがわかりました。香川大学工学部(現:創造工学部)卒のOG・OBだけでなく、工学部(同)以外の卒業生も多く働いています。

卒業生の杠さんからは、5人のグループで製品の企画から販売まで行っているお話がありました。また、企画の通し方や予算獲得の方法、やらなければならない多種の仕事についての話があり、働くうえで必要なことがよくわかるお話でした。

参加者のアンケートで印象に残った点としては、「所属学科から就職されている方が多かった点、自社で設備を開発している点」、全体の感想として、「インターン時には聞けなかった先輩の声を聞くことができてよかった。具体的な入社してからの話を聞けて良かった」などがありました。

コロナ禍での対面形式のセミナーということもあり、参加者人数は多くありませんでしたが、やる気のある学生さんの参加があり、個別面談で香川大学工学部卒業生の貴重なお話を聞くことができ、大変有意義なセミナーとなりました。



▲セミナー時の様子(創造工学部)



▲個別面談の様子

活動報告

「クラウドファンディング・セミナー」を開催しました。

日時：2021年2月10日(水)14:40～16:10

オンライン

講師：徳島大学 リサーチ・アドミニストレーター一般社団法人 大学支援機構

クラウドファンディング OTSUCLE(おつくる) 橋爪 太氏 参加人数:23名

2月10日(水)に、「クラウドファンディング・セミナー」をZOOM 同時配信で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2020年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施される事業であり、学術系クラウドファンディングに挑戦するための方法を示し、支援することを目的として実施したものです。今日必要とされている研究における戦略的アウトリーチに貢献するクラウドファンディングに必要なノウハウを学ぶことを目的として開催しました。

この度は、徳島大学 リサーチ・アドミニストレーター 一般社団法人 大学支援機構クラウドファンディング OTSUCLE(おつくる) 橋爪 太氏よりご講演いただきました。2016年から徳島大学へ外部資金の獲得のためのリサーチアドミニストレーターに就任され、一般社団法人大学支援機構の設立に参画し、クラウドファンディングサイトOtsucle(おつくる)の開発と運営に携わってこられました。セミナーには、学内外から合計23名の参加がありました。橋爪先生から、まず大学支援機構についてのご説明があり、

大学支援機構の設立時の話や、役割についてなどお話しいただきました。次にクラウドファンディングについて、他社との違いなど、わかりやすくご説明いただきました。また、実際にOtsucle(おつくる)で提供するサービスについても、順を追ってお話しいただき、基本的なことから具体的な例・ポイント等、クラウドファンディング初心者にもわかりやすく、大変有意義なセミナーとなりました。

アンケートでは、「非常に参考になった」83%、「参考になった」17%という結果でした。参加者からは「クラウドファンディングについて基本的なところから、具体例までわかりやすく解説してもらえてよかった。」といった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想(一部抜粋)

- 寄付金だけでなく、研究の宣伝効果もあるということで、興味をもちました。勉強になりました。
- クラウドファンディングの敷居を下げる意味でよい機会となりました。



橋爪 太先生

「介護セミナー」を開催しました。

オンライン

日 時：2021年2月17日(水)13:00～14:30

講 師：高松市地域包括支援センター 山崎 憲明 氏
ファーマーシー薬局たかまつ 岡村リナ 氏

参加人数：176名(学生148名・教職員28名)

2月17日(水)「介護セミナー」をオンライン講演(ZOOM同時配信)で開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2020年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において、ワーク・ライフ・バランス実現に資する情報提供のため開催したものです。

高松市より、地域包括支援センター地域支援係 山崎憲明氏、ファーマーシー薬局たかまつ 岡村リナ 氏をお招きし、ご講演をいただきました。

まず始めに、DVDを用いて認知症の方への望ましい対応・悪い対応について、認知症の主な症状・それに至るまでの予防策、高松市の取り組み、受信・相談窓口などをお話いただきました。次のDVDでスーパーマーケットでの認知症の人への対応の事例を視聴し、参加者に対応の悪いところを考えてもらい、学生が発表したり、チャットでそれぞれの考えを発表してもらうなど、オンラインならではのセミナーとなりました。最後に認知症予防について、認知症の人と接するときの心がまえ、若年性認知症に関すること、認知症の人と家族への支援などをお話いただきました。

「認知症の人への対応の心得」「3つの「ない」、急がせない、驚かせない、自尊心を傷つけないを基本姿勢として意識し、「さりげなく自然に」サポートすることが一番の支援であることを学びました。現在すでに認知症の方が身近にいる人も、まだ一度も関わったことがない人も、今回のセミナーで得た知識を、将来の自分、また近所や知り合いの人、何より家族のために生かしていきたいと思わせてくれるセミナーとなりました。

アンケートでは、「非常に参考になった」68%、「参考になった」32%という結果でした。「具体的な家族や地域の方の対応については非常に参考になりました。」「認知症の症状も多様で、落ち着いて接することが必要だとよくわかりました。」など、事例のDVDを見ることにより、実際にどう対応すべきかがわかったといった声が多く寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想(一部抜粋)

- 若い世代にも知識を広げていくことが大切な課題であると改めて認識しました。
- 良い例悪い例の映像などわかりやすく、参加者からのチャットもいろいろな視点に気づくことが出来た。
- たいへんわかりやすい内容でした。疾患の性質だけでなく対応が中心であった点が良かったと思います。
- 1人の独立した人間として受け入れること、認知症になった人もなりたくなかったのではないため、補えるところは周りの人が補うこと、相手の視点に立って考えること、そして知ろうとすることがとても大切であると実感しました。



▲セミナー配信時の様子



おしらせ

2021年度 男女共同参画の視点からライフデザインを考える 日程表
第1Q:木曜日 5時間目(16:20～17:50) 講義形式:対面とオンライン(予定)

回	講義予定日	授業タイトルと内容	担当講師	担当講師所属
1	4月15日(木)	「男女共同参画推進社会」について 「どんな個人も尊重して生きられる社会を目指して」	永田 真一 氏 柴田 潤子	内閣人事局(女性活躍促進・ダイバーシティ担当) 企画調整官 香川大学男女共同参画推進室長
2	4月22日(木)	「子育て家庭の現状と課題、必要な支援とは」	中橋恵美子 氏	NPO法人わははネット理事長
3	4月29日(木)	「誰もが生き生きと働くために ～男女共同参画の視点から働き方を考える～」	佐藤 真理子 氏	香川労働局雇用環境・均等室長
4	5月6日(木)	「ジェンダーの視点で考える『社会』と『法』」	佐藤 倫子 氏	香川県弁護士会
5	5月13日(木)	「議会:意思決定の場に多様性を」	太田 あゆみ 氏	高松市議会議員
6	5月20日(木)	「裁判所における女性の活躍」	村瀬 かおる 氏 藤井 容子 氏	高松地方裁判所
7	5月27日(木)	「技術者を取り巻くさまざまな環境と自分自身で描く未来予想図 ～ライフプラン設計～」	岩井 綾 氏	復建調査設計株式会社四国支社
8	6月3日(木)	「企業におけるキャリア形成について」	大津 陽子 氏	日本アイ・ピー・エム株式会社



2/6ダイバーシティ推進研究交流発表会・研究交流ウィーク オンライン2020に参加しました。(高知大学開催)

オンライン

2月6日(土)に、四国発信!ダイバーシティ推進研究環境
調和推進プロジェクト ダイバーシティ推進研究交流発表会
・研究交流ウィーク オンライン2020に、本学の先生方8名が
参加しました。

本研究交流発表会は、文部科学省科学技術人材育成補
助金事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽

引型)」事業のひとつとして、研究交流並びに相互啓発による
研究力向上や共同研究の推進を目的に四国ダイバーシティ
推進委員会が毎年開催しているものです。今年度本学から
は、ダイバーシティ推進共同研究プロジェクトに採択された
研究についての発表5件と、研究交流ウィークに、オンデマ
ンド配信による発表が3件ありました。

~2月6日(土)10:30~ダイバーシティ推進研究交流発表会 オンライン2020~



倉原 琳 医学部 自律機能生理学
専門領域 : 病態生理学
題 目 : 肺動脈性肺高血圧の新規治療薬の探索



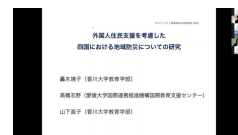
松田 陽子 医学部 腫瘍病理学
専門領域 : 病理学
題 目 : 膵癌の病理診断の施設間の診断一致率および正診率の向上を目指した取り組み



川人 潤子 医学部 臨床心理学科・基礎心理学講座
専門領域 : 臨床心理学・健康心理学
題 目 : Body Mass Indexと自己複雑性との関連の検討 -臨床群と健康群との比較検討-



磯打 千雅子 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
専門領域 : 地域防災・防災計画
題 目 : 大災害の時代を生きる女性のための防災対策に関する研究
~「ライフステージフリー」の実現に向けて~

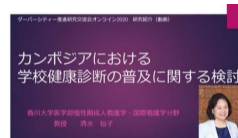


轟木 靖子 教育学部
専門領域 : 言語学・日本語音声学
題 目 : 外国人住民支援を考慮した四国における地域防災についての研究

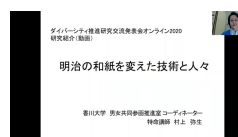
~2月3日(水)~2月10日(水):研究交流ウィーク ※オンデマンド配信による発表です。



上村 忍 創造工学部 先端材料科学領域
専門領域 : 表面化学・高分子科学
題 目 : 高機能分離膜を目指したナノシート混合膜の作製



清水 裕子 医学部 慢性期成人看護学
専門領域 : 看護教育学
題 目 : カンボジアにおける学校健康診断の普及に関する検討



村上 弥生 男女共同参画推進室
専門領域 : 民俗学・社会経済史学
題 目 : 明治の和紙を変えた技術と人々

発表されました皆さま、ご参加ありがとうございました。

編集
発行



香川大学 男女共同参画推進室

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 北5号館1階 TEL:087-832-1055(内線)1055 FAX:087-832-1057
E-mail:sankaku-alpaca-h@kagawa-u.ac.jp HP:http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/